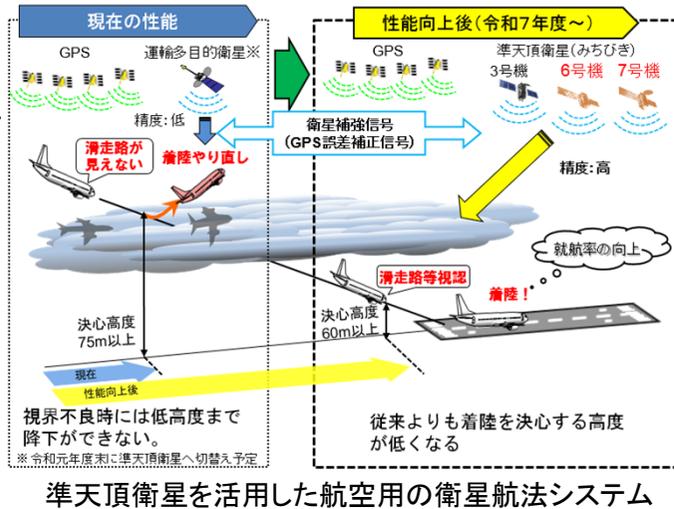


国土交通省 準天頂衛星システムの利活用の促進に向けた令和2年度概算要求

国土交通省	令和元年度当初予算額	令和2年度概算要求額	対前年度増減
宇宙開発利用関係予算	5,514百万円	8,895百万円	3,381百万円増(61.3%増)
うち準天頂衛星システム利活用促進の関係予算	1,603百万円	4,721百万円	3,118百万円増(195.0%増)

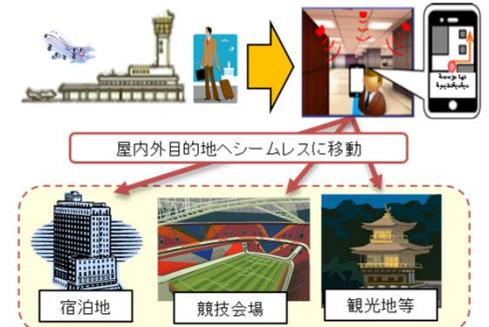
①準天頂衛星を利用したSBAS性能向上整備 【要求額3,693百万円】(新規要求)

- 準天頂衛星7機体制化にあわせ、静止軌道衛星3機を用いた信頼性の高い衛星航法システム(SBAS)を整備
- 測位補強サービスの高度化により、視界不良時の着陸機会が増加



③ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進に向けた取組の推進【要求額59百万円】

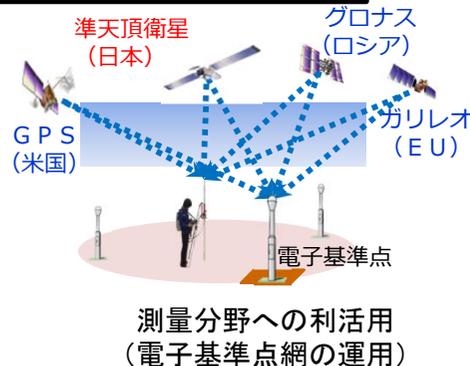
- 高齢者や訪日外国人等がストレスを感じることなく、屋内外を自由に活動できるユニバーサル社会を構築するため、高精度測位技術等を活用した歩行者移動支援の実証を実施



屋内外シームレス誘導等のサービスの見える化実証

②人工衛星の測量分野への利活用(測位分野) 【要求額948百万円】

- 電子基準点網の運用により測量の基準となる情報を提供
- アジア地域における電子基準点網等の測位インフラ整備・高度化や高精度測位技術、位置情報サービス等の国際展開を実施



④高精度測位技術を活用した船舶の自動離着岸システムに関する技術開発 【要求額21百万円】

- 高精度測位技術を活用した自動離着岸技術を確立するため、信頼性の高い船舶位置情報の取得を可能とするための技術開発と自動操船技術とのインターフェースの検討を実施

